



# 四つ葉のクローバー

発行所

桐生厚生総合病院 中央検査部

責任者 吉田カツ江

理念 臨床検査の質的向上と信頼性の確保

2007 年 1 月発行



新年明けましておめでとうございます。今年も本誌の目標であります、患者さんの視点に立って、検査に関わる情報を伝えて参りたいと考えております。今月号は、ちょっと聞きなれない言葉ではないかと思いますが『栄養サポートチーム・NST』について特集を組みました。

栄養管理はすべての医療の基本です。「適切な栄養管理をすることで治療の効果を上げて、栄養不足により患者さんの状態が憎悪し、感染症や褥瘡（床ずれ）が発生するのを防ぐことができます。」

人が必要とする栄養は年齢、性別、体の大きさ、疾患などによって変わってきます。そこで個々の患者さんに応じて適切な栄養管理を実施するのが私たち、栄養サポートチームです。NST (Nutrition Support Team) と呼ばれています。当院では平成 17 年 4 月に稼動しました。チーム編成は各職種間の壁を越えて、医師、看護師、栄養士、薬剤師、リハビリ、臨床検査技師で、それぞれ専門の知識を持ち寄り入院患者さんの栄養評価を行い、その結果を主治医へ報告します。

## 活動内容 1 栄養管理が必要か否かの判断

### 2 栄養スクリーニング

身体計測(身長・体重・BMI\*など)

#### 身長測定



寝たきりの患者さんは身長を測るのが困難なため、膝下の高さから身長を推定します

#### 体重測定



寝たままで体重を量ることが出来る特殊な体重計があります。



体脂肪の栄養状態、皮下脂肪の状態をみます。



筋蛋白質の量をみます。

#### T SF (上腕三頭筋部皮下脂肪厚)測定

#### A C (上腕周囲)測定

\* BMI = 現体重 (kg) ÷ [身長 (m)]<sup>2</sup>

最も健康である数値として 22 を「標準」とし、18.5 以下なら「痩せ」、25 以上なら「肥満」としています。主に「痩せ」の患者さんが NST の対象になります。

身体所見 皮膚の状態（褥瘡、乾燥）や浮腫（むくみ）などを診ます。



## 血液検査 栄養の指標となるタンパク質などの検査

検査する項目	検査から分かること
アルブミン	約1ヶ月間の栄養状態を知ることが出来ます
トランスフェリン	7日間の栄養状態を知ることが出来ます
プレアルブミン	1.9日間の栄養状態を知ることが出来ます
レチノールタンパク	0.5日間の栄養状態を知ることが出来ます
CRP・白血球	炎症・感染症の有無を知ることが出来ます
リンパ球	免疫力が低下しているかどうかを知ることが出来ます

### 3 栄養回診

病室へ食事についてのお話を伺いに行きます。

### 4 栄養プラン作成

必要カロリーを計算しこれまでに得た患者さんの情報から食事を決定します。



栄養プラン作成風景です

### \* 必要カロリーの算出方法（ハリス-ベネデクトの公式より）

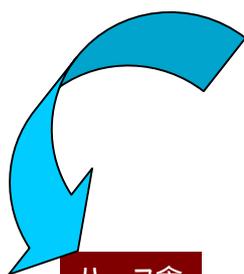
HBE（男性）= 66.47 + [13.75 × 体重（kg）] + [5.00 × 身長（cm）] - [6.76 × 年齢]

HBE（女性）= 655.10 + [9.56 × 体重（kg）] + [1.85 × 身長（cm）] - [4.68 × 年齢]

### 5 主治医へ報告

### 6 栄養管理後の効果の確認をします。

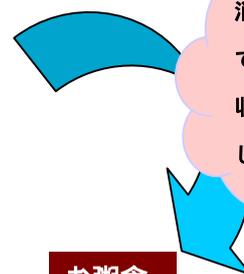
#### 栄養プラン作成後の食事の変化



ハーフ食



栄養管理前の食事



消化器機能の低下している患者さんに吸収のよい食事を配膳します

お粥食



栄養管理後の食事

食欲の低下している患者さんに通常の半分量の食事を出し、不足しているカロリーは補助食品で補います



栄養管理後の食事

患者さんの栄養状態がよくなり、一日でもはやく退院できるように今後もNST（栄養サポートチーム）の活動をしていきたいと思えます。



「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。ご参照ください。ホームページアドレス <http://kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

検査結果は担当医へご質問ください

編集担当 立崎、竹内、小保方